



## 平成24年度第1回 「いわき地域産業6次化 ネットワーク交流会」を 開催

7月27日(金)、県いわき合同庁舎において、いわき地域産業6次化運営会議(事務局:いわき地方振興局・いわき農林事務所・水産事務所)主催による平成24年度第1回「いわき地域産業6次化ネットワーク交流会」を開催しました。

東日本大震災から1年以上が経過しても未だに風評被害に悩まされているいわき地域の農林水産業の復興を地域産業6次化により目指すことを目的としています。

始めに、今年度の事業計画や地域産業6次化に対する公的支援策、また、クラスター分科会等について事務局より説明がありました。

次に、いわきビジネス復興協議会理事長松本正美氏より「風評被害に負けない販売方法～いわきを売り込む!～」と題して、風評被害の払拭や地域経済の活性化を目指



(アドバイスする野下氏)

し東京に拠点を設け活動しているいわきビジネス復興協議会の取り組みなどについて講演がありました。

松本氏の「風評被害の払拭は、まず地元の人達が安全でおいしい物が提供されていることを理解することから始まるのでは」との話に多くの参加者がうなずいていました。

最後に、スイーツや漬物、ジュース、水産加工品などいわき地方の19品目の6次化商品を試食する「6次化商品試食会」が行われました。

試食会では、まず、参加者が試食した6次化商品の評価や商品の感想を事務局から配布されたアンケート用紙に記入しました。

その後、福島県貿易促進協議会海外販路開拓専門員の野下勝彦氏が19品目全ての6次化商品について、商品の味や価格などさまざまな観点からアドバイスしました。

野下氏のアドバイスとアンケート結果は販売者に知らされ、今後の事業展開に生かされます。

### ※クラスター分科会

コーディネーターを中心に、各地域の特産物となりうる商品開発のコンセプトを決定し、商品の開発、マーケティング、販売方法や販売経路の確立など「地域の特産物・名物づくり」のための取組み。

### ※地域産業6次化

農林水産業(1次産業)と加工業(2次産業)サービス業(3次産業)が連携・融合することにより新たな付加価値の創出を目指す試み。